

2025年2月14日

各位

会社名 株式会社ライジングコーポレーション  
(コード番号 207A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 大都 英俊  
問合せ先 専務取締役経営管理部長 畑中 隆二  
TEL 06-4391-3908  
URL <https://www.group-rising.co.jp>

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月13日に公表しました業績予想及び配当予想を下記の通り修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2025年3月記通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	4,352	316	299	194	194.91
今回修正予想 (B)	3,555	128	102	35	35.48
増減額 (B-A)	△796	△187	△196	△159	
増減率 (%)	△18.3	△59.4	△65.7	△81.8	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	3,795	412	409	246	246.98

【修正の理由】

ZEH住宅や省エネリフォーム等を取り扱うハウスソリューション部門において、自社開発を進めた土地で予定していた複数区画の販売が成約に至らず、資材価格や人件費の上昇により販売価格が高騰している注文住宅市場ではより安価な分譲住宅へのシフト傾向も見られる中、自社ブランド注文住宅の販売に苦戦した結果、今期予算を下回る見込みとなりました。

また、住宅及び産業用の太陽光等を取り扱うエコソリューション部門においては、契約獲得は予算を上回るペースで進捗しており、2024年12月24日の2025年3月期中間決算短信訂正の時点では、ハウスソリューション部門の落ち込みをカバーする見込みでしたが、施工体制の強化が遅れ、施工完了件数が伸び悩んだことで、受注済案件の一部の売上計上時期が翌期にずれ込む見込みとなりました。その結果、エコソリューション部門の今期の売上は予算を上回る見込みであるものの、ハウスソリューション事業の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

その結果、連結売上高は予想に対して18.3%減少、経常利益は65.7%の減少となる見込みです。

## 2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末 (円 銭)	期 末 (円 銭)	合 計 (円 銭)
前回予想 2024年11月13日発表	—	38.98	38.98
今回修正予想	—	7.10	7.10
当期実績	—		
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	—	49.40	49.40

### 【修正の理由】

配当につきましては、当社の業績や財務内容及び経済動向などを総合的に勘案し、配当性向については連結当期利益の20%を基準としておりますが、上記の通り、利益の減少が見込まれるため、期末配当予想につきましては、前回予想の1株当たり38円98銭から1株当たり7円10銭とさせて頂く予定です。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な業績の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以上